

2021年4月吉日
ナガセケンコー株式会社
営業統括部

軟式野球ボール(M号/J号)の大きさに関するご案内

拝啓

ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、表記の件につきまして、流通在庫上に存在する公認球規定(規格)の上限と下限の差(規格幅)によって発生する使用時の違和感についてご説明致します。

弊社では、日頃より製品の製造及び出荷の際は品質管理等のチェックを厳重に行っております。軟式野球ボールを含め、中空構造のボールの特性から、これらのボールを製造する際には、推定出荷時期、推定使用時期等を鑑み、“公認球規定(規格)”の範囲内で内圧等を微調整しております。

市場に流通するボールには“公認球規程(規格)”の上限(最大値)と下限(最小値)の幅の中で製造され出荷されたサイズが存在しています。この最大幅(上限⇔下限)のボールを同時期に使用されると若干の違和感が生じることがあるかもしれませんが、中空ボールの特質上、やむを得ないことであることをご承知ください。

また、昨今のコロナ禍に於いてその市場でのボール使用の状況を判断することが非常に困難であることも重なり製造側の意図とそぐわない状況で流通している可能性が多々発生している事実をお詫び申し上げます。

今後も万全の体制で製造・出荷をさせて頂く所存でありますので暫くの間、ご迷惑をお掛けしますことを重ねてお詫びとお願いをさせていただきます。

今後とも、弊社製品を御贖頂きます様、宜しくお願い申し上げます。

敬具